

| 授業科目名                | 疾病と治療 I   |       |                                   | 担当教員     | 向井 靖、河口 知允、<br>平川 克哉、早田 哲郎 |  |
|----------------------|---|-------|-----------------------------------|----------|----------------------------|--|
| 開講年次                 | 1年後期  | セメスター | 2                                 | 時間数(単位数) | 30 (1)                     |  |
| 必修選択                 | 必修  | 授業形態  | 演習                                | 使用教室     |                            |  |
| 授業の目的                | 生命の維持にかかわる疾病とその治療について学習する。  |       |                                   |          |                            |  |
| 到達目標                 | 生命の根幹となる呼吸・循環・消化器系の疾病を病態面から理解し、看護に結びつけることができる。  |       |                                   |          |                            |  |
| ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ | この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「健康」に位置付けられている。人体の構造と機能と同時に開講され、看護の基礎となっていく科目である。本科目を通して科学的根拠に基づく思考および主体的かつ自立的な学習の力を培う。 |       |                                   |          |                            |  |
| ディプロマポリシーとの関連        | 人間の尊厳と権利を擁護する力  | 自己教育力 | チームで働く力                           | 問題解決力    | 看護の専門性を探究する力               |  |
|                      |   | ◎     |                                   | ○        |                            |  |
| 授業計画                 |   |       |                                   |          |                            |  |
| 回                    | 授業内容  | 授業方法  | 学修課題<br>(予習・復習)                   | 取組時間     | 担当者                        |  |
| 1                    | 循環器系疾患について理解する：不整脈、血圧異常、動脈硬化と高脂血症、(血管)心筋の疾患   | 講義    | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間      | 向井                         |  |
| 2                    | 循環器系疾患について理解する：ショック、心不全、  | 講義    | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間      | 向井                         |  |
| 3                    | 循環器系疾患について理解する：不整脈とペースメーカー、心臓手術   | 講義    | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間      | 向井                         |  |
| 4                    | 循環器系疾患について理解する：各種疾患の循環器への影響   | 講義    | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間      | 向井                         |  |
| 5                    | 循環器系疾患について理解する：心疾患のリハビリテーション、薬物治療   | 講義    | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間      | 向井                         |  |
| 6                    | 呼吸のしくみと防御機能について理解する：呼吸器系の症状と検査、呼吸不全、治療法   | 講義    | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間      | 河口                         |  |
| 7                    | 呼吸器感染症（かぜ、インフルエンザ、気管支炎、肺炎、結核などの抗酸菌症、真菌・寄生虫疾患を含む日和見感染）について   | 講義    | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間      | 河口                         |  |
| 8                    | 喘息およびアレルギー肺疾患、過敏性肺臓炎、肉芽腫性および膠原性肺疾患、原因不明の肺線維症について  | 講義    | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間      | 河口                         |  |

|          |   |    |                                   |     |    |
|----------|---|----|-----------------------------------|-----|----|
| 9        | 肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患、肺がんおよび喫煙による呼吸器障害について   | 講義 | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間 | 河口 |
| 10       | 環境および職業と関連する肺疾患、縦隔・胸膜疾患、肺塞栓などの肺循環障害について   | 講義 | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間 | 河口 |
| 11       | 消化器系疾患について理解する：食道、胃など上部消化管の疾患   | 講義 | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間 | 平川 |
| 12       | 消化器系疾患について理解する：十二指腸、小腸、大腸、直腸など株消化管の疾患   | 講義 | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間 | 平川 |
| 13       | 消化器系疾患について理解する：潰瘍と悪性腫瘍  | 講義 | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間 | 平川 |
| 14       | 消化器系疾患について理解する：肝臓疾患   | 講義 | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間 | 早田 |
| 15       | 消化器系疾患について理解する：胆嚢、膵臓疾患  | 講義 | 左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 | 1時間 | 早田 |
| 先行履修科目   |   |    |                                   |     |    |
| テキスト     | 浅野浩一郎 他：系統看護学講座 専門分野2 成人看護学 [2] 呼吸器. 医学書院, 2019.<br>上塚芳郎 他：系統看護学講座 専門分野2 成人看護学 [3] 循環器. 医学書院, 2019.<br>金田智 他：系統看護学講座 専門分野2 成人看護学 [5] 消化器. 医学書院, 2019. |    |                                   |     |    |
| 参考文献     | Anthony, S.F. et al. : Harrison's principles of internal medicine (18 <sup>th</sup> ). 2012,<br>福井次矢 監訳：ハリソン内科学 (1, 2), メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013.  |    |                                   |     |    |
| 評価方法     | 定期試験 (100%)<br>※配点の内訳は、コマ数によって配分します。  |    |                                   |     |    |
| 教員等の実務経験 | 臨床経験のある医師が、その経験を活かして、循環器系疾患・呼吸器系疾患・消化器系疾患について講義・演習を行います。  |    |                                   |     |    |
| メッセージ    | ★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性がある。  |    |                                   |     |    |